

週報 第3171回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・鍛野 信
幹事 松村 泰英 SAA 櫻井 善章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年8月26日)

■ プログラム

納涼例会

■ 次週のプログラム

9月2日: クラブフォーラム
川端 徹 社会奉仕担当理事

■ 今後の予定

・9月9日: 新入会員「私の履歴書」
・9月16日: ガバナー公式訪問

■ 祝 誕生日

杉本 憲一(31日)

■ ロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

海

海はひろいな 大きいな
月がのぼるし 日がしずむ
海にお船を 浮かぼして
行ってみたいな よその国

■ 先週の例会



会長の時間
南出 和成 会長

○グローバル奨学生岸田隆明さん9月3日(土) 日本出発に当たっての御挨拶
○8月26日納涼例会について 通常例会と同じ時間、会場に変更
○ベトナム出張について 8日~12日まで仕事でベトナムへ出張して参りました。ベトナムには毎年一回出張して参りましたが、今回はコロナウイルスの影響で2年ぶりになりました。 仕事の内容は、技能実習生の面接に行きました。今回は3人の募集に対し、5人しか応募がありませんでした。徐々にベトナム国内の賃金が上がっていき、日本に来るメリットがないからです。 技能実習制度を11年前から利用しており今は15名のベトナム実習生がおります。 今後は、募集しやすい、バングラディッシュからの

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3171回

技能実習生受け入れをも考えております。

○会員増強について 当月は会員増強月刊です。また会員増強は本年度の重点目標の一つでもあります。

7月23(土)地区の会員増強委員長会議に和歌山のJAビルに行ってきました。

そこで「ロータリークラブにはいろいろ!」という本を書いた高崎ロータリークラブの田中久夫さんの講演を聴きました。

特に会員増強数において、この方の会長時、64名から115名 つまり51名の純増に成功した事についての話です。

その中で実践したことは、全会員に「三種の神器」を携行してもらった事です。

- 1、入会申込書
- 2、高崎クラブの簡単なプロフィール
- 3、ロータリーそのものを説明する印刷物。

以上の三つです。

それと、本当に大切なのは、候補者に遭遇したときにロータリーについて明確に説明できるかどうかです。そのため多くの候補者から質問される事をあらかじめ想定して勉強会を行っているという事です。

想定される質問としては

- 1、ロータリーの目的とは?
- 2、ロータリーにとって最重要の思考は?
- 3、ロータリーに入ったら何が得られるか?
- 4、ロータリーと他の奉仕団体との違いは?

おおまかに以上の事を想定している。

あと、ロータリーの会員増強の障壁についての話もありました。

シニア会員さんに対しての厳しいご指摘や、そのクラブの会長さん幹事さんが熱意を持って会員増強に当たっているか、また女性会員の入会を認めないクラブがある事など、会員増強の障壁についての話を伺いました。

今後の会員増強の参考にして行きたいと思っております。

会員の皆様方には、会員増強に御協力宜しくお願い致します。

以上です。

幹事報告

松村 泰英 幹事

○本日メールボックスにロータリー財団からの寄附金領収証を入れさせて頂いておりますので、確定申告にご利用下さい

○小林美術館より、秋季特別展「自然を描く 実りと恵みの情景」開催のご案内のながきが届いております。ご入用の方は事務局の方までお願い致します

委員会報告

○来週26日(金)の納涼例会が、夜からお昼のいつもの例会の時間帯に変わりますので、ご出席の皆さんよろしくお願致します。

○本日例会終了後、くすの木の間で親睦活動委員会を開催したいと思いますので、ご出席よろしくお願致します (根尾 玲子 親睦活動委員長)

○本日、19時から吉野にて職業奉仕委員会を開催しますので、出席よろしくお願致します (今井 克範 職業奉仕委員長)

○来週24日(水)献血、泉大津市役所の方でございまして、お立ち頂ける会員の皆さん、よろしくお願致します。例会受付の所にチェック表を置いてありますので、お帰りにチェックお願致します。又、お礼の品の方もお聞きしている方、事務局までご持参頂いた方ありがとうございます。お礼の品、当日まで受付大丈夫ですのでよろしくお願致します。

○例会終了後、社会奉仕委員会を30分位の時間でさせて頂きたいと思っておりますので、委員の皆様ご出席よろしくお願致します (川端 徹 社会奉仕委員長)

■ ビジター

グローバル奨学生 岸田 隆明 様

■ 出席報告

会員数44名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
8/19	36名	8名	—	83.72%
7/29	40名	4名	2名	97.67%

■ メークアップ

榎本(8/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

原(正)(8/5 理事役員会)

■ ニコニコ箱

・道正田さん、卓話 宜しくお願い致します。岸田さん、財団奨学生頑張って来て下さい。(南出)

・本日 卓話 道正田さん、宜しくお願いします(松村)

・岸田さん、スイス留学がんばって下さい。道正田様、卓話よろしくお願いたします(櫻井)

・岸田君、スイスのローザンヌ大学留学おめでとうございます。しっかり学んでがんばって下さい(山本(博))

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	121,000円

■ 岸田隆明君のグローバル補助金奨学生としての留学前のご挨拶



今年度のグローバル補助金のご支援をいただき、9月からスイスにある、ローザンヌ大学の大学院に留学させていただきます岸田隆明です。

今年の2月に、こちらの例会でご挨拶させていただきましたが、早いもので半年が経ち、9月3日に関西空港からスイスに向け出発することとなりました。

この半年間、泉谷様をはじめ、皆様のご支援のもと補助金の申請を完了できたことを、改めてお礼申し上げます。

本日は、留学出発前のご挨拶として、改めて留学先での学習・研究、留学後の目標、補助金の奨学生としての考えについて、少しだけお話をさせていただきます。

① 留学先での学習・研究 私の研究分野は、開発経済学と呼ばれる経済学

の一分野で、データや因果推論といった手法を使って貧困や環境破壊・気候変動に関する研究をしています。近年、日本のメディアでも天然資源の破壊や枯渇、気候変動による食糧危機や健康被害が世界的な問題として注目されていますが、これらの問題について、実際にはどのような被害が起きているのか、どのような政策が望ましいのか、といった問いに対して、データを用いて答えるための研究をする予定です。

② 留学後の目標 現地に残り働きたいと考えています。先ほどお話しした問題について、学術研究と実務・実践的な立場からアプローチしたいと考えています。

③ 補助金の奨学生としての考え 最後に、僥倖ながら、奨学生として、泉大津市と留学について考えたことを、少しお話しさせていただきます。私が大学院留学を考えはじめたのは、今から約6年前、大学3年生くらいからですが、それまでは、海外の学生と同じように入

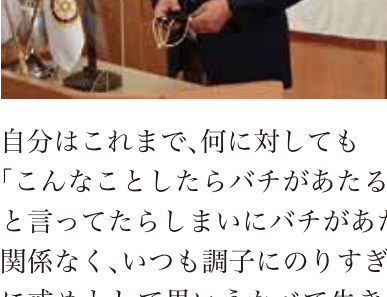
学して学位を取るといった選択肢を知りませんでした。近年、日本の高校から欧米やアジアの大学に進学する高校生が急増しているようで、既に泉大津からもそういう高校生が出てい

る、あるいは今後希望する学生がいるのではないかと思います。私が過ごした小学校~高校の経験では、まだそのような選択を検討する機会がなく、そういった話を伺う機会もありませんでした。もし、留学したいと考える泉大津の若い学生の方がいれば、何らかの形でサポートするなどして、将来は自分の経験を活かし、地元へ貢献することができれば、と考えています。

改めて、学業に専念するために、補助金のご支援をいただけますこと感謝申し上げます。社会に貢献できる人間になれるよう、精進して参ります。以上でご挨拶とさせていただきます。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3171回

先週のプログラム



卓話担当
道正田 均 会員

自分はこれまで、何に対しても「こんなことしたらバチがあたる」とか「他人にそんなこと言ったらしまいバチがあたる」など私生活や仕事関係なく、いつも調子にのりすぎたと自分が感じたときに戒めとして思うかべて生きてきたようにおもいます。おもえばたぶん自分がそんなことを常に考えるのも、幼いころからよく祖母が自分にそう言っていたしなめてきたからかと思えます。

しかしよく考えてみたら自分の意識のなかに常にあったはずの「バチがあたる」の概念ですが、行動したり、言葉に出したりする前に、さきに思い浮かべて言動を控えたりするようになったのは、大人になってからだったように思っています。

実際にいろいろなおそらくバチがあつたであろうとおもわれる出来事が今まで生きてきたなかで大小無数にありました。具体的に何があつたかは、あまりにも多すぎるとほとんど忘れてしまつて、ここで文章にすることなどできないくらいです。

たとえば、仕事で納品の段取りをしている時「たぶん確認せんでも大丈夫やろ」とおもい、ちよつと行って現場を見ておけばよかったのに邪魔くさがつて行かなかつたときに限って間違ひが起つてしまひ、余裕だつた納期があやうく納期遅れになつてしまひ、余裕だつたか、または、通常より利益率があがる見積価格が通つた品物に限って、印刷ミスなどのトラブルが制作段階で起きてしまひ、結局利益が薄くなつてしまつたり、とか。ほんとに神様がいて、自分のやることを見張つてい

のではないかなと思わせられることばかりです。

ただそんな数ある《バチがあつたかも》は、ただ漠然と自分で因果関係を結びつけているだけで、その時たまたま偶然起つたことかもしれません。しかし、一度だけハッキリとバチがあつたと確信した出来事が昔あつたのでここに書かせていただきます。

自分は昔からクルマが大好きで、所有したいクルマがありました。それが、本気で好きなクルマは買わず、どうしてもその時の生活スタイルにあわせた実用的な

クルマを乗りついできました。しかし子育ても一段落した時について念願の小さなクラシックカーを手に入れました。それでそれまで所有してきたクルマではしたくないくらい手入れをしたりしてクルマそのものを趣味として楽しんでおりました。

そんなある日、そのクルマで一般的な生活路を走っている際に自転車で接触されてしまうという事故が起きました。自転車で乗っていたのはお年寄りでも子供でもなく若い大学生で、ポスティングのアルバイト中で自転車の前カゴに大量の配布物を入れていたために急にハンドルがとられてフラついた、ということでした。

その大学生は、確実に自分が悪いと思ったのでしよう。すぐにわたしに謝り、こちらの車に傷をつけてしまったことと弁償すると言ってくれました。そこで車の販売店に行き、修理の見積りを取ると、修理代は47,000円ということになり、その大学生がアルバイト代が入れば支払ってくれることになりました。

自分はそのとき、「こんな学生から、47,000円も貰ったらバチがあたるのではないかな」とかなり悩んだのですが、冷静にどう考えてもこの事故において自分のほうに負はないと思ひ、後ろ髪をひかれながらも相手の大学生に弁償してもらつたことになりました。そして約束どおりその月末にきつちりと支払ってもらいました。

こちらはそれまでにとりあえず見積りどおりではなく自分的に我慢ができる範囲の最低限の修理を店でもらひ、その金額は14,800円で済ませておりました。ほんとうにきつちりと修理すれば、もつた金額ではとうい足りなかつたためです。

するとそれから一週間もたないうちに、こんどはスピード違反で捕まつてしまいました。罰金18,000円でした。

「え?これはひよつとしたら、やっぱりの件でバチがあつたのかな。」とおもいつつも、「でも、まあまだ、47,000円もらつたうちかかつた費用が32,800円だからまだ14,200円は残るな」くらいに考えておりました。

それから数日たつて、大阪府警から封書が届きました。内容は、「先日のスピード違反で交通違反の累積点が6点になりました。本来なら30日間の免許停止処分にあつたりますが、今回は軽微な違反の累積によるため、最寄りの自動車学校などで一日講習を受ければ累積の6点は抹消されます。」という内容でした。そしてその受講料は14,200円でした。。。びつたりでした。